



全日病 SQUE e ラーニング 看護師特定行為研修

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

区分別科目



(A) 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

高カロリー輸液の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）

栄養および水分管理に係る薬剤投与関連
持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

**高カロリー輸液の判断基準
(ペーパーシュミレーションを含む)**

福島県立医科大学 麻酔科学講座 井上 聡己

演習の内容

- 1 全日病の手順書「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」の内容
- 2 演習
- 3 まとめ

手順書：高カロリー輸液の投与量の調整

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

1. 栄養状態の悪化が認められる
2. 脱水が疑われる場合
3. 持続点滴が長期に及ぶ場合

省令6項目

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり

担当医師の携
帯電話に直接
連絡

【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識状態の変化なし
- ☐ バイタルサインの変化なし
- ☐ SpO2 $\geq 92\%$

病状の
範囲内

安定
緊急性なし

【診療の補助の内容】

持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

手順書：高カロリー輸液の投与量の調整

【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐ 意識状態の変化
- ☐ バイタルサインの変化
- ☐ SpO2（過剰輸液による肺水腫の懸念）
- ☐ 血糖値（糖負荷による影響のチェック）
- ☐ 刺入部の状態（発赤、出血、感染兆候など）

どれか一項目でもあれば、下記の確認をして担当医に連絡

- ☐ 血圧
- ☐ SpO2
- ☐ 血糖値

担当医師の携帯
電話に直接連絡

【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

担当医師

【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 担当医師の携帯電話に直接連絡
2. 診療記録への記載

高カロリー輸液投与量調整の特定行為の対象

1. 栄養状態の悪化が認められる
2. 脱水が疑われる場合
3. 持続点滴が長期に及ぶ場合



看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲

- 意識状態の変化なし
- バイタルサインに変化なし
- SpO₂ ≥ 92%

診療の補助内容

□ 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整

- ✓ 必要総カロリー量
- ✓ 投与総カロリー量
- ✓ 投与水分量
- ✓ 耐糖能

あらかじめ調整方法を決定しておく

特定行為を行うときに確認すべき事項

- 意識レベルの変化
- バイタルサインの変化
- SpO₂ (過剰輸液による肺水腫の懸念)
- 血糖値 (糖負荷による影響のチェック)
- 刺入部の状態 (発赤、出血、感染徴候など)

施行中
施行しばらくたって

異常項目 1 個以上



医師に連絡する前に確認する3項目

- 血圧
- SpO₂
- 血糖値

連絡相談体制



【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

担当医師

誰かあらかじめ決めておく



【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】

1. 担当医師の携帯電話に直接連絡
2. 診療記録への記載



タイミングあらかじめ決めておく

演習の内容

- 1 全日病の手順書「持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整」の内容
- 2 演習
- 3 まとめ

Case1 60歳男性

- 放射線腸炎のため食事が十分摂れず、2週間の末梢点滴実施
- その後、PICカテーテルを左上肢から挿入
- 高カロリー輸液 (1kcal/ml) 30ml/hr 開始
- 糖尿病があり食事療法中
- 褥瘡がしやすい

Case1 60歳男性

来院時体重 : 50kg (身長170cm)

意識レベル : JCS I-1

BP : 120/80 HR : 70 RR : 15 SpO2 : 95%

口腔・腋窩・皮膚乾燥(-) ツルゴール低下(-)

排尿は可能であり、量も保たれている

Case1 60歳男性

血液検査 : WBC : 5000 Hb : 15g/dl
生化学 : Na⁺ : 135 K⁺ : 4.1 Cl⁻ : 95
BUN : 18 Cr : 1.0 血糖 : 100
TP : 5.0 Alb : 1.8
胸部XP : CTR : 45%
尿中ケトン : 陽性

課題 : 各課題について、時間内に記載

手順書に従って高カロリー輸液の投与量
の調整を行えるか考察してください

課題：各課題について、時間内に記載

必要エネルギー量の面から、輸液の調整
の必要性や調整内容、その判断根拠を考
えてください

課題：各課題について、時間内に記載

蛋白必要量の面から、輸液の調整内容を
考えてください

課題：各課題について、時間内に記載

脂質必要量の面から、
輸液の調整の必要性や調整内容、
その判断根拠を考えてください

課題：各課題について、時間内に記載

ビタミンおよび微量元素必要量の面か
ら、
輸液の調整の必要性や調整内容、
その判断根拠を考えてください

Case1 60歳男性

特定行為施行後2日経過

意識レベル：JCS I-0

BP：120/80 HR：70 RR：15 SpO2：91%

CTR:55%

血糖値：250mg/dL

課題：各課題について、時間内に記載

この時点での特定行為の実施の有無、

または必要な対応を考えてみましょう